クルメニュース

久留米工業大学

クルメコウギョウダイガク

第10号

発行日　平成23年1月
久留米工業大学　入試広報課
久留米市上津町2228-66
TEL (0942)22-2345（代表）
FAX (0942)21-8770
http://www.kurume-it.ac.jp

トピックス

「ロボメカコンペ」において チーム「太公望」優勝！

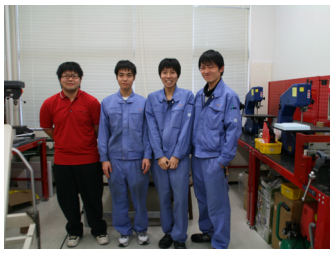
機械システム工学科　３年　佐藤　賢弥
（高千穂高校）
河崎　拓也
（防府高校）
大学院エネルギーシステム工学専攻 木村　優介
（浮羽工業高校）

（社）日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス部門主催「フューチャードリーム！ロボメカ・デザインコンペ 2010」において、本学チーム「太公望」が見事優勝しました。参加チーム５位以内で争われる２次審査へは３年連続で進出しており、（例年 18 ～ 20 チームが参加）その努力が報われ今年は、強豪の九州大学、九州工業大学を制してついに優勝の栄冠を手にしました。

ROBOTICS MECHATRONICS DESIGN COMPETITION 2010

【代表の佐藤君コメント】

私は、幼いころからロボットが好きでしたが、大学に入学するまで自分でロボットを作ることは夢のようなことでした。しかし今回、クラスの友達や大学院の先輩とともに日本機械学科主催のロボメカデザインコンペに参加し、ロボットを１から作製するという貴重な体験ができました。今回、私達が提案したのは、延縄漁業での作業をサポートするロボットです。これまでのロボメカコンペでは、海中で使用するロボットは防水性や材料などを考慮する必要があり、陸上を対象とする提案がほとんどでした。そこで、あえて海中でのロボットに挑戦し、ついに優勝することができました。今回のロボット製作では仲間の大切さ、協力する力の重要性を強く感じました。コンペに出展するなど初めての経験で困惑することも多く、白石先生をはじめ多くの先生方のおかけでここまで来ることが出来ました。また、今回のロボット製作では仲間の大切さ、協力する力の重要性を強く感じました。これから近い将来、ますますロボットが普及し、もっと身近な存在になることは間違いありません。ロボットと人間が協力し、私達の暮らしを便利にできるような研究に関わることができればと思います。



学生の活躍

「2010IeSF 国際大会」日本代表として参加！

情報ネットワーク工学科１年　西村 仁志
（熊本北高校）

IeSF が主催するオンラインゲームスポーツの国際大会が 2010 年 10 月 28 日(木)から５日間、韓国のテグ市で開催されました。この大会の日本代表となるには、7 月から開催されたトーナメントで 80 クラン 500 名以上のプレイヤーと熱い火花を散らし、やっと国際大会へのチケットを獲得することができました。開催地であるテグ市は、仁川国際空港からバスで 5 時間半、10 月下旬ながら少々肌寒さを感じました。テグ市に到着した当日は、歓迎レセプションが開催され、翌日からの試合に向け一呼吸置くことができました。

対戦が始まり、韓国・アメリカ・日本が相互に対戦し、結果“神がっかたスナイピン”を見せた選手がいるアメリカが優勝・準優勝に韓国・日本は３位という結果になりました。

今回の大会で、強豪韓国から 2 ラウンジ奪取できた事で実力の差がどれだけ縮まったか確認できました。このことは大きな収穫であり、これからはより戦術に磨きをかけていかなければならないと痛感した世界大会でした。

第 30 代さわやかかぐや姫

建築・設備工学科４年　石丸 裕佳子
（佐賀工業高校）

私は 10 月の大川木工まつりで第 30 代さわやかかぐや姫に認定されました。大川のまちづくり団体でイベントに参加する度に、大川の人の街に対する熱い思いを感じ、私もこの街でもっと何か役に立ちたいと思い、審査に応募しました。たくさんの応募者の中から選んで頂いたので、一年間少しでも多くの方に大川の素晴らしさや温かさを知ってもらえるようにしっかり大川という街を PR していきたいです。皆さんもぜひ木工の街大川へ足を運んでください。

準硬式野球部　リーグ初優勝！

教育創造工学科３年　比嘉　佑樹
（沖縄尚学高校）

私達が準硬式野球というサークルを立ち上げてから、３年目、これまでリーグ戦は最高でも２位、あと一勝に泣いていました。しかし、今年の秋季リーグ戦でついに悲願の２部リーグ初優勝をし、来季から１部リーグに昇格が決まりました。

今大会で４年生が引退なので私達後輩は、「必ず優勝して引退させる！」という強い思いがありました。私の４年生に対する思いは特別なものでした。実はこのサークルを立ち上げた時、部員はわずか５人、当時は、主将も辞め、キャッチボールくらいしかできない状況で、部員を集めようと努力はしたものの、集まったのはやっと８人。周囲には、他に野球経験者はいませんでした。悩んだ末、無理を承知で先輩たちにお願いしました。すると、先輩方が「協力しよう」と次々に入部してくれ、ついに１６名、大会にも参加出来るようになりました。３年生で人生で初めてのキャプテンの私は、全く駄目な主将でしたが、４年生は文句ひとつ言わずに協力してくれました。その４年生に感謝の気持ちも込め「優勝」で恩返しをしたかったのです。２部リーグ優勝という、サークルとしては、まだまだな結果ですが、これからさらに活躍できるよう頑張っていきます。

中学校授業参観

教育創造工学科　１年　岡田 知剛
（光陵高校）

11 月 17 日、青陵中学校に学科の行事の一環で授業参観に行きました。
実際の授業を見学するというのは教師を目指す私にとって「授業の進め方」「時間配分の仕方」「教科書・ノートを使うタイミング」などの実際に体験できる大変に貴重な経験でした。また、出来だけ分かり易く、尚且つ、生徒を飽きさせないように指導される先生方の姿や、まじめに授業を聞き、活気あふれる生徒たちの姿をみれたことで教職を目指す気持ちが一層深まりました。授業観察後には、「新しい学習指導要領・学習要領改訂の基本的考え」について現行学習要領からの改善点、学校での対応についての説明もしていただきました。今回の授業運営の技術を参考にし、まだ一年次ではありますがさらなる研鑽に励もうと思います。

教育実習を終えて

機械システム工学科　４年　浦 宏徳
（祐誠高校）

「工業」と「情報」の教員免許状を取得する為 11 月 8 日から 2 週間、母校である祐誠高校で教育実習を行いました。担当教科は、電子機械。3 年生対象の教科で、「興味を持たせる授業」を目標に取り組みました。

教科書に記載されている部品で実験装置を作り、実際に生徒がその実験装置を体験できるようにしました。授業後、「先生、授業楽しかったよ」と生徒に言ってもらえたのがとても嬉しかったです。しかし、用語の説明が大きな課題で専門知識と経験が無いと駄目だと痛感しました。

また、教師は、学問だけを教えるだけではなく、生活態度の指導など人間育成を行っていくこと、工業科では人生の大きな分岐点でもある就職活動の指導がありとても遣り甲斐のある職業だと実感できました。

ものづくりセンター機械加工プロジェクト

顧問：機械システム工学科　杉本准教授
加工指導：ものづくりセンター　野口聡仁

今年の 10 月より、ものづくりセンターのプロジェクトとして機械加工プロジェクトを立ち上げました。活動としては、平成 20 年度後期より始まり、現在、機械システム工学科 3 年 川畑裕樹君（田川高校）、1 年　奥田智也君（中村学園三陽高校）、末原正樹君（都城工業高校）、中島伊織君（筑陽学園高校）の４名で活動しています。活動は、週に2回各3時間程度、「工作機械の安全作業」「加工のスキルアップ」をテーマとし、加工の基礎から学んでいます。

その他にも目標として、機械加工技能検定にもチャレンジしています。平成 21 年度には、現 3 年の川畑裕樹君が 3 級機械加工　普通旋盤作業技能検定に合格しました。

就職内定者の声

「株式会社　スズキ」

交通機械工学科４年　井上 純平
（佐賀学園高校）

高校時代、進路を決める頃、最初は特に進学するつもりはなく美容師にでもなろうかと思っていました。しかし進路の先生に勧められ、車に興味もあったので本学に進学することにしました。普通高校からの進学ということで最初の頃、講義の内容の多くは、何をやっているのかまるでわからないという状況でした。ただ実習の授業だけはとても楽しかったです。

就活をする時期になり、初めは電気関連の企業なども視野に入れ活動を開始しました。しかし、せっかく勉強したことを生かしたいと思い、メーカをばかりでなくディーラも含め自動車関連の会社に挑戦することにしました。スズキを選んだのは、自分が乗車している車だったこと、他社に比較して面白い中身の車づくりをしていると感じていたためです。試験は、作文と面接、特に面接は 1 日で 3 回もあり、志望動機など覚えたことを精一杯話せるだけ話しました。今思うとわかない質問を受けても黙り込まず出来るだけ話すことを心がけたことが、結果コミュニケーケーション能力として認めていただけたのではないかと思います。

これから内定式を経て、卒業までに入社する会社でしっかり働けるよう準備しておきたいと思います。

卒業生コメント

清水建設　中丸　諭志
建築・設備工学科　平成 20 年卒業

私が建築に興味を持ったのは、高校進学の頃です。工業高校の建築科に進学しその後大学でも設備に関する基礎知識を身につけたいと本学の建築設備工学科に進学しました。就活の頃、建築施工業の会社から内定を頂きましたが、さらに建築史を学びたいと考え熊本大学大学院に進学しました。大学時代は、バンド活動をしたり、アルバイト等も経験しました。卒業研究の「大分県日田市皿山文化的景観についての研究」は支部長賞を受賞しました。卒業旅行はフランスの古い建物を見に行き、大学院では地中海古代都市の調査研究を課題としました。現在は、清水建設に就職し同期の仲間と研修会などで自分の不得手な分野を改めて認識、さらに勉強し克服することを目標にしています。今、常に新しい事を学びとることに喜びを感じています。大学で勉強している後輩の皆さん、これから進路を選択する皆さん、「学ぶ」喜びを知ることがやがて自分の力になります。がんばれ！

大学からのお知らせ

入試日程

推薦入試　後期推薦入試は併願となりました！

後期推薦入試（併願）

出願期間	1 月 7 日（金）～ 1 月 18 日（火）
試験日	1 月 20 日（木）
合格発表	1 月 22 日（土）
試験地	本学

一般入試

前期一般入試

出願期間	1 月 7 日（金）～ 1 月 26 日（水）
試験日	2 月 2 日（水）・2 月 3 日（木） └ 試験日自由選択制 ┘
合格発表	2 月 12 日（土）

試験地	2月2日	福岡・長崎・大分・熊本・宮崎・鹿児島・那覇・松山・広島・大阪
	2月3日	本学のみ

中期一般入試

出願期間	2 月 14 日（月）～ 3 月 7 日（月）
試験日	3 月 10 日（木）
合格発表	3 月 12 日（土）
試験地	本学

後期一般入試

出願期間	3 月 14 日（月）～ 3 月 23 日（水）
試験日	3 月 25 日（金）
合格発表	3 月 26 日（土）
試験地	本学

センター入試

センター利用前期入試

出願期間	1 月 7 日（金）～ 2 月 4 日（金）
合格発表	2 月 12 日（土）

センター利用中期入試

出願期間	2 月 14 日（月）～ 3 月 7 日（月）
合格発表	3 月 12 日（土）

センター利用後期入試

出願期間	3 月 14 日（月）～ 3 月 23 日（水）
合格発表	3 月 26 日（土）

AO（アドミッションズ・オフィス）入試

エントリー申込期間	9 月 1 日（水）～ 3 月 25 日（金）
出願日・面接日	エントリー受付後、入試担当者と相談の上、出願日程等を決定します。
合格発表	面接試験終了後後日通知
試験地	本学

久留米工業大学のモバイルサイト（携帯版）からも資料請求ができます。左の QR コードからアクセスしてご覧ください。